

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2012年1月25日から2015年11月11日まで（当初、無期限）
運 用 方 針	外国投資信託「ライオングローバル シンガポール トラストファンド 米ドルクラス」受益証券及び「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」受益権への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	投資信託証券（投資信託の受益権または受益証券および投資法人の投資証券をいい、外国投資信託の受益権または受益証券および外国投資法人の投資証券を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等（短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。）以外への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（原則11月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

償還 運用報告書（全体版）

繰上償還

（償還日 2015年11月11日）

ライオングローバル アジア カンントリー・ファンド・シリーズ シンガポール投資ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ シンガポール投資ファンド」は、2015年11月11日に繰上償還となりました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

 **SBI Asset Management**

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			投資信託証券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	騰 落 中 率		
(設定日) 2012年1月25日	円 銭 10,000	円	—	% —	% —	百万円 12
1期 (2012年11月12日)	10,114	300		4.1	97.1	35
2期 (2013年11月12日)	11,505	1,500		28.6	99.6	27
3期 (2014年11月12日)	11,582	900		8.5	87.9	39
(償還時) 4期 (2015年11月11日)	(償還価額) 10,196.85	—		△12.0	—	25

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

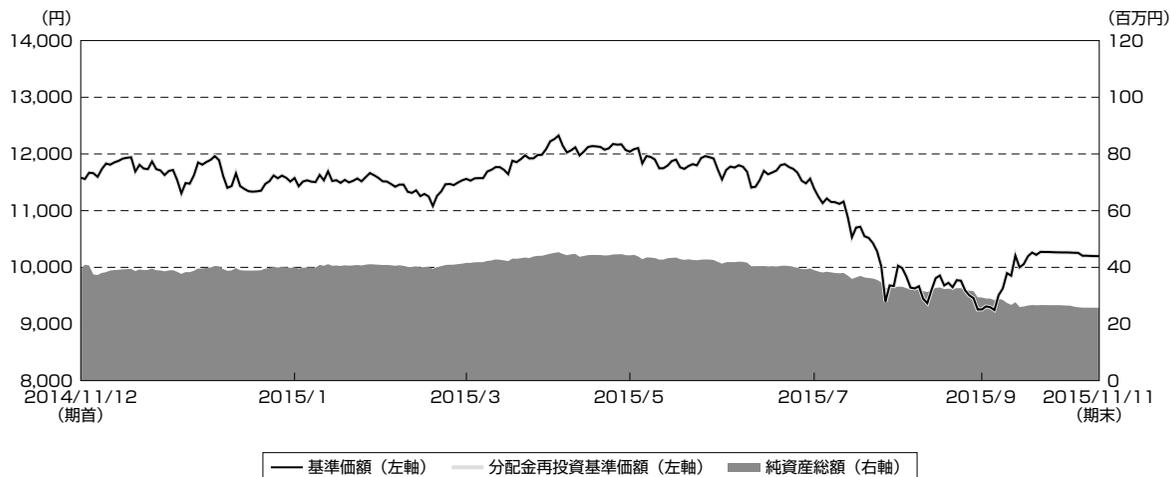
年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2014年11月12日	円 銭 11,582	% —	% 87.9	% 87.9
11月末	11,933	3.0		95.8
12月末	11,962	3.3		93.8
2015年1月末	11,575	△0.1		95.0
2月末	11,624	0.4		96.5
3月末	11,560	△0.2		95.1
4月末	12,263	5.9		96.4
5月末	12,039	3.9		96.8
6月末	11,550	△0.3		96.8
7月末	11,383	△1.7		95.2
8月末	9,987	△13.8		97.8
9月末	9,256	△20.1		96.1
10月末	10,261	△11.4		—
(償還時) 2015年11月11日	(償還価額) 10,196.85	△12.0		—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 2015年10月末は、繰上償還のため投資信託証券を全て売却し現金化しています。

■運用状況及び投資環境

○基準価額等の推移



期 首：11,582円
期末 (償還日)：10,196円85銭
騰 落 率：△12.0%

- (注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年11月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

(2014年11月～2015年11月)

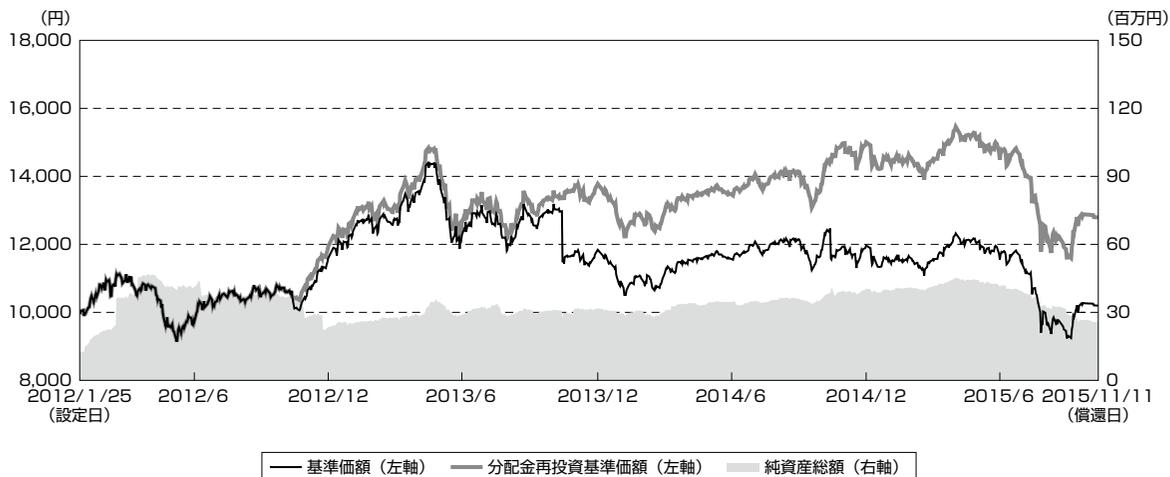
上昇要因

シンガポール金融通貨庁による金融緩和や追加緩和期待によるシンガポール株式の上昇、為替のドル高・円安進行など

下落要因

企業業績の低迷によるシンガポール株式の下落、中国の人民元切り下げを発端とした世界的な株価急落、為替のドル安・円高進行など

○設定来の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

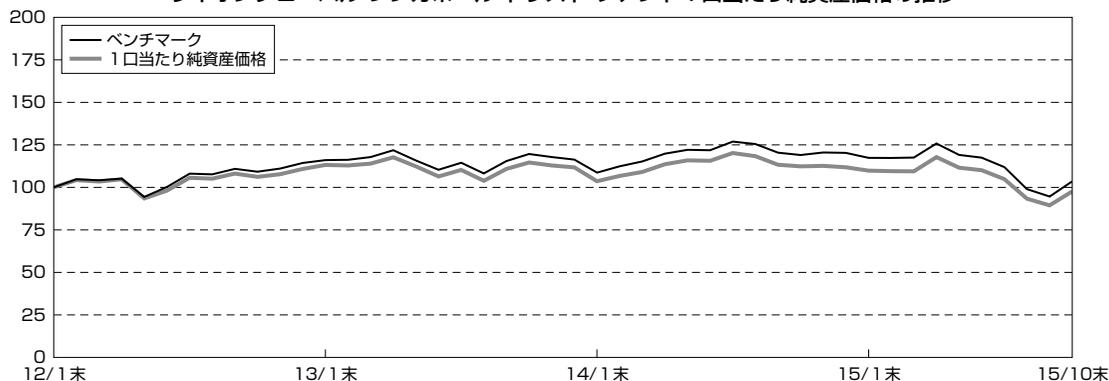
組入れている投資信託受益証券の価格の上昇

下落要因

組入れている投資信託受益証券の価格の下落

○設定来の投資環境

ライオングローバル シンガポール トラスト ファンド 1口当たり純資産価格の推移



※純資産価格はブルームバーグ、ベンチマークはライオン グローバル インベスターズ リミテッドのデータに基づいています。
※純資産価格、ベンチマークは2012年1月末を100として指数化しています。
※純資産価格は報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

ベンチマークはMSCIシンガポール指数です。

MSCIシンガポール指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属し、同社は同指数の算出もしくは公表方法を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

【第1期】（2012年1月～2012年11月）

（2月）

シンガポール株式市場は、主に不動産株（特に中国市場で事業展開する銘柄）や、海洋関連株の上昇により、当月にプラスの収益を上げました。

（3月）

シンガポール株式市場は、他の東南アジア市場に対して出遅れ、方向感のない相場展開となりましたが、アジアの他市場の収益率を上回りました。

（4月）

シンガポール株式市場は、アジアの他市場の収益率にわずかに先行したものの、ほぼ横ばいの結果となりました。

（5月）

シンガポール株式市場は、アジアの他市場とともに下落しました。

（6月）

シンガポール株式市場は、力強く反発し、先進国市場で最も高い年初来収益率を実現しました。

（7月）

シンガポール株式市場は、世界の政策の最前線で楽観論が再び浮上したことによって持ち直し、力強い収益率が継続しました。

（8月）

シンガポール株式市場は、方向感のない相場展開となりました。

(9月)

欧州中央銀行による無制限の国債買い入れプログラムや、米連邦公開市場委員会で決定された追加金融緩和などの政策アナウンスメントに押し上げられる形で、シンガポール株式市場は上昇しました。

(10月)

シンガポール株式市場は下落し、出来高も前月の上昇局面から減少しました。

【第2期】 (2012年11月～2013年11月)

(11月)

シンガポール株式市場は、金融業と電気通信サービス業の好調なパフォーマンスによって上昇しました。

(12月)

シンガポール株式市場は、中国や米国で発表されたマクロ経済指標に投資家が好ましい反応をみせたことから、小幅高となりました。

(1月)

シンガポール株式市場は、好調な中国の経済指標や米国が最初の「財政の崖」問題を回避したことによる恩恵を受け、小幅ながらもプラスの収益を確保しました。

(2月)

シンガポール株式市場は、シンガポール企業の2012年第4四半期業績が悪影響を及ぼすなど市場心理がまちまちの状況となったこともあり、方向感のないボックス圏相場となりました。

(3月)

シンガポール株式市場は、他の東南アジア市場と同じくプラスの収益率をあげました。

(4月)

シンガポール株式市場は、日本市場の上昇を好感し、月間通じて安定的に上昇しました。

(5月)

シンガポール株式市場は、全業種（特に高配当利回り銘柄）が売られたことに伴い、下落しました。

(6月)

シンガポール株式市場は、他の東南アジア市場と歩調を合わせて下落しました。

(7月)

シンガポール株式市場は、東南アジア地域で最も収益率の高い市場となりました。

(8月)

シンガポール株式市場は、空売りの急増や投資家のリスク選好が、割高な内需銘柄からグローバルに事業展開する景気循環銘柄に移行したことに伴い、急落しました。

(9月)

シンガポール株式市場は、米連邦準備理事会による金融緩和縮小の先送りを背景に、プラスの収益率を上げました。

(10月)

シンガポール株式市場の収益率は、東南アジア地域の他市場を下回り、小幅高となりました。

【第3期】（2013年11月～2014年11月）

（11月）

シンガポール株式市場は、投資家が様子見姿勢となったことから、閑散取引となりました。シンガポール市場は他の東南アジア市場を上回る収益率を上げましたが、前月末比では若干の下落となりました。

（12月）

シンガポール株式市場は、前月末比でほぼ横ばいの収益率となりました。

（1月）

シンガポール株式市場の収益率は他の東南アジア市場の収益率に後れを取る格好となりました。

（2月）

シンガポール株式市場の収益率は、東南アジア市場の収益率に後れを取る格好となりました。

（3月）

シンガポール株式市場は上昇しましたが、前月に続き、東南アジア市場の指標となる指数の収益率を下回りました。

（4月）

シンガポール株式市場は前月に続き上昇しました。

（5月）

シンガポール株式市場は、一連の株式公開買い付け（TOB）関連の動向が相場を動かす格好となりました。

（6月）

シンガポール株式市場は、東南アジア市場の中で唯一下落した市場となりました。

（7月）

シンガポール株式市場は、国内の経済指標は振るいませんでしたが、米国と中国の経済指標が好調であったことから、上昇しました。

（8月）

シンガポール株式市場は、イラクやウクライナ情勢といった地政学リスクに左右される相場つきとなりました。

（9月）

シンガポール株式市場は、地政学リスクや景気の先行き不透明感を背景とした世界の株式市場の下落に引きずられる格好となりました。

（10月）

シンガポール株式市場の収益率は、東南アジア地域の株式市場の指標を下回りました。

【第4期】（2014年11月～2015年11月）

（11月）

シンガポール株式市場は、市場の変動率が高まる中、引き続き下値抵抗力をみせ、東南アジア地域の株式市場の指標を上回る収益率となりました。

（12月）

シンガポール株式市場は、市場の変動率が高まったにもかかわらず、下値抵抗力をみせました。

（1月）

シンガポール株式市場は、東南アジア地域で最も収益率の低い市場となりました。

(2月)

シンガポール株式市場は、狭いレンジで取引され、主要各国の中央銀行による金融緩和に対して肯定的な反応を示した東南アジア地域の他市場を下回る収益率となりました。

(3月)

シンガポール株式市場は、東南アジア地域の他市場を若干上回る収益率を上げ、直近2カ月間の後れを取り戻す格好となりました。

(4月)

中国の経済成長を促進するために、さらなる金融緩和措置が実施されたこともあり、上海・香港株式の相互取引制度は、中国の国際優良銘柄の株価上昇に拍車を掛けました。シンガポール株式市場においても同様に、中国で事業展開をするシンガポール株が中国株上昇の恩恵を受けました。

(5月)

シンガポール株式市場は、東南アジア市場で最も収益率の低い市場となりました。

(6月)

シンガポール株式市場は、前月から上昇傾向にある電気通信サービスを除き、全業種が下落しました。

(7月)

シンガポール株式市場は、低調なシンガポール企業の企業業績を背景に下落しました。

(8月)

中国景気の減速に伴い輸出主導型のシンガポール経済が困難な状況に直面していることから、シンガポール株式市場は株価下落に見舞われました。シンガポール市場の代表的株価指数であるS T指数は約△8%下落し、全業種がマイナスの収益率となりました。

(9月)

シンガポール株式市場は、輸出が引き続き伸び悩み、GDP成長率の見通しが年2%~2.5%に引き下げられたことから、下落基調が継続しました。

○当ファンドのポートフォリオ

外国投資信託「ライオングローバル シンガポール トラストファンド 米ドルクラス」受益証券及び「F O F s 用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)」受益権への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○1万口当たりの費用明細

(2014年11月13日～2015年11月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	126 (61) (61) (5)	1.120 (0.539) (0.539) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	459 (233) (48) (178)	4.071 (2.066) (0.424) (1.581)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	585	5.191	
期中の平均基準価額は、11,282円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2014年11月13日～2015年11月11日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	F O F s 用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)	口 —	千円 —	口 100,051	千円 99
外 国	(シンガポール) LIONGLOBAL SINGAPORE TRUST FUND	口 24,734	千米ドル 47	口 178,624	千米ドル 305

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月13日～2015年11月11日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年11月11日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2015年11月11日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	26,201	100.0
投資信託財産総額	26,201	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2015年11月11日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資産	26,201,766 円
コール・ローン等	26,201,759
未収利息	7
(B) 負債	463,606
未払信託報酬	203,492
その他未払費用	260,114
(C) 純資産総額(A-B)	25,738,160
元本	25,241,275
償還差益金	496,885
(D) 受益権総口数	25,241,275口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,196円85銭

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	33,970,390円
期中追加設定元本額	11,455,509円
期中一部解約元本額	20,184,624円

○損益の状況 (2014年11月13日～2015年11月11日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	168,126 円
受取利息	△ 6,617
その他収益金	174,743
(B) 有価証券売買損益	△1,532,507
売買益	2,687,177
売買損	△4,219,684
(C) 信託報酬等	△1,986,394
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,350,775
(E) 追加信託差損益金	3,847,660
(配当等相当額)	(4,479)
(売買損益相当額)	(3,843,181)
(F) 合計(D+E)	496,885
償還差益金(F)	496,885

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年1月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年11月11日		資産総額	26,201,766円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	463,606円
				純資産総額	25,738,160円
受益権口数	12,227,158口	25,241,275口	13,014,117口	受益権口数	25,241,275口
元本額	12,227,158円	25,241,275円	13,014,117円	1万口当たり償還金	10,196円85銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	35,375,077円	35,777,386円	10,114円	300円	3.0000%
第2期	23,722,900	27,293,641	11,505	1,500	15.0000
第3期	33,970,390	39,345,630	11,582	900	9.0000

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	10,196円85銭
----------------	------------

○約款変更のお知らせ

- ・運用報告書（全体版）について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。
- ・信託契約の解約及び変更等に係る書面決議について、要件の緩和に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権の買取請求について、規定の適用除外に伴い信託約款に所要の変更を行いました。

（変更日：2014年12月1日）

<参考情報>

主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	ライオングローバル シンガポール トラスト ファンド 米ドルクラス
ファンド形態	シンガポール籍投資信託
運用方針	シンガポール株式及び株式に関連した証券への投資によって信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
ベンチマーク	M S C I シンガポール
信託期間	無期限 (設定日: 2004年 8 月 2 日)
決算日	12月31日
信託報酬	純資産総額に対し年0.65%
関係法人	管理会社: ライオン・グローバル・インベスターズ・リミテッド 受託銀行・保管会社・管理事務代行会社: H S B C インスティテューショナル・トラスト・サービシズ (シンガポール) ・リミテッド

■ライオングローバル シンガポール・トラスト・ファンド（米ドルクラス）の状況
2015年11月11日現在入手している最新（2015年6月30日現在）の状況です。

○保有有価証券明細（2015年6月30日現在）

	株数	評価額 (シンガポールドル)	純資産比率 (%)
FINANCIAL			
DBS Group Holdings Limited	193,126	3,995,777	15.6
Oversea-Chinese Banking Corporation [#]	328,147	3,340,536	13.0
United Overseas Bank Limited	138,845	3,203,154	12.5
CapitaLand Retail China Trust Management Limited	263,500	458,490	1.8
Singapore Exchange Limited	57,900	453,357	1.7
CapitaLand Commercial Trust	248,100	387,036	1.5
Frasers Centrepoint Limited	212,700	377,543	1.5
Mapletree Greater China Commercial Real Estate Investment Trust	342,200	349,044	1.3
		12,564,937	48.9
INDUSTRIAL			
Keppel Corporation Limited	104,700	860,634	3.3
Singapore Airlines Limited	75,000	804,750	3.1
Noble Group Limited	642,554	488,341	1.9
ComfortDelGro Corporation Limited	138,000	431,940	1.7
Singapore Technologies Engineering Limited	114,400	377,520	1.5
Sembcorp Industries Limited	85,600	332,984	1.3
Hutchison Port Holdings Trust	297,600	252,453	1.0
Yangzijiang Shipbuilding Holdings Limited	116,100	164,281	0.6
Libra Group Limited	654,100	130,820	0.5
Triyards Holdings Limited	283,500	116,235	0.5
Singapore Post Limited	41,000	77,695	0.3
		4,037,653	15.7
COMMUNICATIONS			
Singapore Telecommunications Limited	835,880	3,519,055	13.7
Starhub Limited	64,700	255,565	1.0
		3,774,620	14.7
REAL ESTATE			
CapitaLand Limited	366,800	1,283,800	5.0
Global Logistic Properties Limited	301,000	761,530	3.0
UOL Group Limited	46,861	324,278	1.2
Hongkong Land Holdings Limited	19,200	211,993	0.8
City Developments Limited	21,000	205,380	0.8
		2,786,981	10.8

Ultimate holding company of the Manager

	株数	評価額 (シンガポールドル)	純資産比率 (%)
CONSUMER, NON-CYCLICAL			
Wilmar International Limited	168,900	553,992	2.2
JAPFA Limited	470,500	185,848	0.7
First Resources Limited	75,200	153,408	0.6
Bumitama Agri Limited	130,000	128,700	0.5
Cordlife Group Limited	112,400	126,450	0.5
		<u>1,148,398</u>	<u>4.5</u>
CONSUMER, CYCLICAL			
Genting Singapore Public Company Limited	665,000	595,175	2.3
Asian Pay Television Trust	136,900	116,365	0.5
		<u>711,540</u>	<u>2.8</u>
TECHNOLOGY			
Venture Corporation Limited	27,100	209,212	0.8
UNQUOTED			
BASIC MATERIALS			
FerroChina Limited*	376,000	—	—
Portfolio of investments		25,233,341	98.2
Other net assets		462,890	1.8
		<u>25,696,231</u>	<u>100.0</u>

* This security has been delisted from the stock exchange prior to current financial year and its fair value represents the Manager's best estimate.

By Industry (Summary)	純資産比率 (%)
Financial	48.9
Industrial	15.7
Communications	14.7
Real Estate	10.8
Consumer, Non-Cyclical	4.5
Consumer, Cyclical	2.8
Technology	0.8
	<u>98.2</u>
Portfolio of investments	98.2
Other net assets	1.8
Net assets attributable to unitholders	<u>100.0</u>

■損益等の状況

計算期間 (2015年1月1日～2015年6月30日)

	LionGlobal Singapore Fund
	(シンガポールドル)
収益	
受取配当金	422,562
	<u>422,562</u>
費用	
監査費用	7,912
保管報酬	3,288
管理報酬	153,280
専門家報酬	7,586
登録費用	7,770
受託報酬	5,331
評価・管理費用	5,657
取引コスト	55,137
その他費用	8,705
	<u>254,666</u>
損益	<u>167,896</u>
投資有価証券及び金融派生商品に係る損益	
投資有価証券損益	(25,027)
現物為替契約損益	1,365
為替差損益	(4,309)
	<u>(27,971)</u>
当期損益 (税引前)	139,925
所得税	(2,239)
当期純利益	<u>137,686</u>

■ F O F S用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2015年11月11日現在入手している最新（第5期決算日（2015年9月25日現在））の状況です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014年9月26日～2015年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,979円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	(11)	(0.108)	
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)	
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	
合 計	14	0.143	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産の明細
親投資信託残高

	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 11,124	千口 2,259	千円 2,294

(注)親投資信託の当期末における受益権総口数は、7,323,818千口です。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 2,294	% 99.9
コール・ローン等、その他	1	0.1
投資信託財産総額	2,295	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,295,745円
コール・ローン等	1,552
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	2,294,031
未収入金	162
(B) 負債	1,614
未払信託報酬	1,530
その他未払費用	84
(C) 純資産総額(A-B)	2,294,131
元本	2,299,956
次期繰越損益金	△5,825
(D) 受益権総口数	2,299,956口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,975円

■損益の状況

自2014年9月26日 至2015年9月25日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	1,928円
売買益	2,244
売買損	△316
(B) 信託報酬等	△3,992
(C) 当期損益金(A+B)	△2,064
(D) 前期繰越損益金	△3,171
(E) 追加信託差損益金	△590
(配当等相当額)	(12,183)
(売買損益相当額)	(△12,773)
(F) 計(C+D+E)	△5,825
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△5,825
追加信託差損益金	△590
(配当等相当額)	(12,185)
(売買損益相当額)	(△12,775)
分配準備積立金	87,914
繰越損益金	△93,149

(注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFS用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産 マザーファンド（第8期決算日（2015年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

■1万口当たりの費用明細

当期中における該当事項はありません。

■組入資産の明細

<国内(邦貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
	千円	千円	%	%	%	%	%		
地 方 債 証 券	700,000 (700,000)	705,075 (705,075)	9.5 (9.5)	— (—)	— (—)	— (—)	9.5 (9.5)		
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	3,470,000 (3,470,000)	3,490,128 (3,490,128)	46.9 (46.9)	— (—)	— (—)	— (—)	46.9 (46.9)		
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	100,000 (100,000)	100,766 (100,766)	1.4 (1.4)	— (—)	— (—)	— (—)	1.4 (1.4)		
合 計	4,270,000 (4,270,000)	4,295,969 (4,295,969)	57.8 (57.8)	— (—)	— (—)	— (—)	57.8 (57.8)		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ()内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

当	期	末		
銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
地方債証券	%	千円	千円	
第632回東京都公募公債	2.0	100,000	100,936	2016/3/18
第634回東京都公募公債	1.86	100,000	101,326	2016/6/20
平成17年度第4回静岡県公募公債	1.6	100,000	100,132	2015/10/27
平成18年度第4回静岡県公募公債	2.1	100,000	101,851	2016/8/24
平成23年度第6回愛知県公募公債(5年)	0.4	100,000	100,260	2016/7/14
平成17年度第6回埼玉県公募公債	1.6	100,000	100,249	2015/11/25
平成23年度第3回埼玉県公募公債(5年)	0.5	100,000	100,321	2016/6/27
小 計		700,000	705,075	
特殊債券(除く金融債)				
第8回政府保証中日本高速道路債券	2.0	100,000	101,692	2016/8/12
第856回政府保証公営企業債券	1.5	530,000	530,514	2015/10/20
第858回政府保証公営企業債券	1.5	100,000	100,362	2015/12/25
第865回政府保証公営企業債券	2.0	273,000	277,277	2016/7/20
第866回政府保証公営企業債券	2.0	163,000	165,801	2016/8/18
第187回政府保証中小企業債券	1.5	210,000	210,661	2015/12/15
第11回政府保証日本政策投資銀行債券	1.6	200,000	201,264	2016/2/24
第1回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	224,000	224,797	2015/12/25
第16回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	2.0	200,000	203,236	2016/7/28
第23回政府保証都市再生債券	0.3	100,000	100,049	2015/12/10
第1回政府保証東日本高速道路債券	1.6	200,000	200,504	2015/11/25
第2回政府保証東日本高速道路債券	1.5	900,000	903,042	2015/12/21
第2回政府保証中日本高速道路債券	1.5	270,000	270,926	2015/12/22
小 計		3,470,000	3,490,128	
普通社債券(含む投資法人債券)				
第474回中部電力株式会社社債	1.69	100,000	100,766	2016/3/25
合 計		4,270,000	4,295,969	

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,295,969	% 57.8
コール・ローン等、その他	3,138,345	42.2
投資信託財産総額	7,434,314	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,434,314,238円
コール・ローン等	3,124,065,390
公社債(評価額)	4,295,969,020
未収利息	11,205,749
前払費用	3,074,079
(B) 負債	10,162
未払解約金	10,162
(C) 純資産総額(A-B)	7,434,304,076
元本	7,323,818,504
次期繰越損益金	110,485,572
(D) 受益権総口数	7,323,818,504口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,151円

■損益の状況

自 2014年9月26日 至 2015年9月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	83,824,090円
受取利息	83,824,090
(B) 有価証券売買損益	△79,563,150
売買損	△79,563,150
(C) 当期損益金(A+B)	4,260,940
(D) 前期繰越損益金	101,453,174
(E) 追加信託差損益金	6,747,030
(F) 解約差損益金	△1,975,572
(G) 計(C+D+E+F)	110,485,572
次期繰越損益金(G)	110,485,572

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。